

ヒーローズ塾生のみなさん、保護者様方、こんにちは。

師走(12月)までもうすぐ。年末ですね。中3生のみなさんは、受験校もだいぶ絞れてきた時期かと思います。学校の自己診断テストで良かった人も悪かった人もいます。良い結果がでた人の多くは、しっかり自分の課題に取り組んでいたと思います。今後の取り組み次第で結果が変わりますから、最後までやりぬきましょう。

しかし、残念ながら、頑張っている、なかなか思うような結果がついてこないケースもあります。そんな時は、良い結果をだすために、着々と準備している段階だと思ってください。苦しいかもしれませんが、準備をしていなければ、飛躍はありません。また、自分の勉強の方法が合っているのか悩む事もあるでしょう。その場合は相談してください。

今は、苦手教科(単元)に取り組む時期。いつも思いますが、生徒さんを見ていて、自分ではやらなければいけないのわかっているはずなのに、知らないうちにそれを無かった事にして、遠ざけてしまっている生徒さんが多いという事です。確かに苦手教科(単元)に本気で取り組むのには、得意教科(単元)と違って、相当な気合いが必要ですが、実は飛躍のヒントはそこにあります。今がその時です。前向きに考えて取り組んでみてください。また、単元を絞る際、過去の模試や自己診断テストの問題などの問題を解いてみてください。あと、今もまだ、やる気が出ていない生徒さんに伝えます。希望の高校に合格している自分を想像してみてください。素敵な事でしょう。しかし、このまま簡単にそうなるわけではありあせん。現実には甘くないです。

当塾の高校生のみなさんも中学3年のころは一生懸命に勉強していました。高校生になると中学時代の比ではありません。6時間分前後の週末課題、予習していないと到底、理解できない授業スピード、それらについていける土台があるかどうかを試されるのが高校受験です。高校生のみなさんはみんなその土台があるため、それぞれ課題を持って塾でも学習しています。

毎日 86,400 円が振り込まれます。ただ、ラッキーな事に、この瞬間から受験までの残り時間だけは受験生全員に平等に与えられています。時間というものが、毎日 86400 円あたなの口座に振り込まれます。そしてそれは、(86400 秒)使わないと口座から消えてしまいます。貯金ができないお金です。時は金なりです。英語では中学生は今や現在のことを now で習いますが、高校になると present(プレゼント)という単語でも学習します。時間は誰もが平等に与えられたプレゼントです。回りをみて、夏が終わってから真剣になった生徒さんは多くないですか？あなたにもできます。最後にもう一度言います。ラッキーな事に、この瞬間から受験までの時間は受験生全員に平等に与えられています。まだ、遅くはありません、素敵な春を迎えてください。

中1生、中2生の皆さんは職場体験など学校行事も終わり、元気で勉強や部活を頑張っていると思います。時間の経過はやいもので、もう11月です。あっという間でしたね。

中2の内容が高校入試に一番出題されます。おそらく、中1、も中2の生徒さんも、勉強が大分難しくなってきたと感じる生徒さんが多いのではないのでしょうか。そうです。この時期に習う内容は本当に難しいのです。中1の英語・数学も油断していると分からなくなります。中2になると単語量が一気に増えます。英語の不定詞・動名詞・接続詞、数学の図形や関数の応用など本当に大変です。

中2は勉強した生徒さんとしていない生徒さんとの差がはっきりする学年です。 それは学習単元や量が中1の3～4倍あるために試験前に少しした程度では間に合わなくなるためです。本来、学習量が増えるのでその分、勉強量も増えないと理屈が合いません。そんな内容が今回の12月の定期テストに出題されるわけです。ですから準備をしっかりとしないと、良い成績はまずとれません。特に、これまであまり頑張らずに良い成績をとってきた人は要注意です。いきなり成績が下がることもありえます。今回は十分に準備をして試験を受けるようにして下さい。長い目でみると中2の学習が入試での合否を決めると言っても過言ではありません。

(1) 間違ったところは必ず解き直す。

どの教科も基本的には同じですが、特に数学。いくら練習しても同じところを同じように間違えては、発展はありません。できなかったところは必ず解き直し。フォレストの解答解説をよく読むことは理解力を高める効果的な方法です。自分で解いて下さい。この繰り返しで応用力が養成されていきます。

(2) 覚えていないことは責任をもって覚える。

英語や社会など、ただやっただけでは知識が定着しません。大切なことを覚えられたかどうか、一問一答問題などでチェックして下さい。どうしても覚えなくてはいけないものは何回も繰り返し書いたり声に出して読んだりして覚えて下さい。

(3) 学習時間にこだわらない。

長い時間やらなくてもいいです。単元や問題に触れる回数を増やして下さい。長時間やるより、回数を重ねる。特に苦手な教科にはこの方が有効です。大事なのは回転数です。以上述べたように、少しずつでいいので、日々勉強して効率よく学習効果が上がるようにして下さい。

成績が下がり気味の人、中々成績が上がらない人。能力や才能がないと思っははいけません。だれでも本気でやればできるのです。ただ本気かどうか、真剣かどうかで同じことをやるのに随分と結果が異なってきます。できないことができるようになった、分からないことがわかるようになったということが成績の向上につながることをしっかりと覚えておきましょう。

冬期講習受付開始 12月21日(土) から 1月10日(金)

今年の高校受験は新制度となります。実業系(商業、工業)、(普通科岡山城東校理数科)は2度チャンスがあり、普通科は一発勝負です。実業系高校志望者は先の2月13日の学力検査をまず目標に据えましょう。つまり、実業系志望者は例年より早く取り組まなければいけないということです。2度のチャンス、最初の1回目で合格したほうがいいですよ。

冬期講習ではその点も踏まえ、普通科と実業系高校と分けて実施します。実際の過去問題を同じ時間帯で4日連続で4年分解く志望校特訓を中心に単元ごと個別に学習していきます。また中1中2生は映像授業を取り入れ、各単元ごとにテストを行い、日曜などに補習を行っていきます。

■実業系高校 2月13日、14日

■普通科高校 3月12日、13日

集合 8時50分

集合 8時50分

国語	9時20分～10時05分	国語	9時20分～10時05分
数学	10時25分～11時10分	数学	10時25分～11時10分
英語	11時30分～12時15分	社会	11時30分～12時15分
面接		英語	13時05分～13時50分
		理科	14時10分～14時55分

面接

冬期講習の概要は別途、面談までに別途送付します。

中学岡山県模試 中学3年生2014年1月4日(土)、中1、2年生1月5日(日)

中1中2生は志望校を決めましょう。勉強するときのパワーが違います。今の成績はあまり気にしないで行きたい高校がいいと思います。中3になるとテストが増えます。定期試験のほかに自己診断テストが2学期から毎月あります。さらに、弊塾でも岡山県模試を行っており、結果をみて各生徒さんと相談し、高校を絞っていきます。ただし中1中2生の最重要テストは言うまでもなく、学校の定期試験です。予め範囲を提示し、その中で学習しますので一番やりやすいでしょう。やりやすいからこそ通知表に直結しますので十分な準備が必要です。通知表=内申点は岡山県の場合は50%もあります。日ごろからのテスト前の勉強が大切なことは高校受験にあたって大切なのは言うまでもありません。あとの50%は定期試験の勉強だけでは不足です。総合範囲の勉強をして成果を模試などで確かめていきましょう。

冬の面談は12月2日から19日まで

冬期講習前に冬の面談を行います。別紙にて第4希望までご記入のうえ生徒さんを通じてお出しください。弊塾からの内容は前回岡山県模試の返却と冬期講習のご案内などが主となります。生徒さんを通じて確定日時をお渡しします。

小学生全学年学研全国統一テスト

夏期講習の一貫で行った学研の全国統一模試は8月30日に弊塾でも行いました。この冬も無料で実施します。冬期講習を受けない生徒さんも当テストのみ受験できますので是非、参加してみてください。学研は小学生の母集団が多く力だめに最適です。日時などは別途お知らせ致します。国語と算数の2科目(各45分)です。

速脳速読受講生速解力検定11月1日から15日で終了しました。

春と秋に行う速脳速読検定の最重要検定が過日終了しました。縦書きと横書きをの文章を読み、あとの質問に答える制限時間各15分の計30分の検定です。弊塾生も速脳速読受講者全員が受検しました。全員集中して取り組まれていました。結果のほうは後日、お渡しします。

